

仏教壯年の声

岐阜教区仏教壯年会連盟

岐阜教区仏教壯年会連盟では、本願寺岐阜別院の報恩講法要第2日目初夜法要に併せて、平成30年度より本堂前に竹灯りを灯しています。秋の彼岸の頃より、仏社会員の方が竹を持ち寄り竹筒の加工を行います。併せて、竹灯りの中に入れるろうそく作りも行います。ろうそく作りは、教区内寺院より残口ウを回収し、それをまとめて鍋で溶かした後、アルミ缶を半分に切った型に流しこみ作っていきます。全部で約140セットを作製し、当日に備えます。報恩講参拝当日は、夕方に会員が集合し準備に入ります。周りが薄暗くなるのに併せていよいよ火を灯します。浮かび上がる本堂の幻想的なたたずまいに念佛の声が広がっていました。平成30年の岐阜新聞に記事として取りあげられました。今年度も引き続き竹灯りを実施していきます。



準備の様子



竹灯り



本堂前